総合

11月外客数
10年同月比2%の増加
6月以来のプラスに　台湾が最高値、中国2割減

日本政府観光局（JNTO）が12月21日に発表した2012年11月の訪日外客数（推計値）は、前年同月比17・6%増の64万9千人だった。東日本大震災前の水準の前々年同月との比較では2・2%の増加で、12年6月以来のプラスとなった。韓国の回復が進み、台湾などが過去最高を記録したが、尖閣諸島をめぐる問題を受けて中国は前々年比約2割の減少だった。

訪日外客数（JNTO推計値）

	11月（人）	11年同月比増減(%)	10年同月比増減(%)	1～11月（人）	11年同期比増減(%)	10年同期比増減(%)
総数	648,600	17.6	2.2	7,678,900	36.0	−3.6
韓国	183,600	37.0	−6.9	1,844,400	21.6	−17.6
中国	52,000	−43.6	−24.0	1,379,000	43.1	2.0
台湾	123,300	43.0	37.9	1,354,700	47.9	14.1
香港	36,200	7.4	32.0	436,800	36.3	−6.3
タイ	24,200	110.7	28.1	235,200	86.4	20.3
シンガポール	14,800	17.9	−37.3	114,800	29.7	−20.4
豪州	14,000	16.1	−7.7	181,200	25.7	−9.8
米国	58,200	9.7	−1.5	659,500	28.2	−2.0
カナダ	11,500	12.2	−0.6	123,700	36.2	−12.3
英国	14,000	6.0	−7.1	160,900	25.6	−6.1
フランス	10,800	19.4	−2.9	120,300	38.0	−14.6
ドイツ	11,000	8.6	−11.7	101,700	36.7	−13.0
マレーシア	15,200	96.8	37.5	113,100	66.5	16.5
インド	6,100	10.0	13.9	64,400	17.0	3.0
ロシア	5,300	40.7	6.5	46,000	49.3	−3.7
インドネシア	7,700	40.5	37.1	88,200	68.1	26.9
ベトナム	4,700	23.4	24.6	51,700	35.3	32.5
その他	56,000	18.2	2.6	603,300	39.7	−2.7

11月の単月としては、07年11月の68万7千人に次ぐ過去2番目の実績。12年1～11月の累計は767万9千人となり、前年同期比で36・0%増、前々年同期比で3・6%減だった。12年の年間外客数は、12月の集計が残っているが、年間目標の900万人には届かず、800万人台前半となる見通し。

11月を市場別にみると、韓国は前々年同期比6・9%減の18万4千人。放射能に関する風評被害は一部に残っているが、震災前と比べた減少率は初めて1桁台に縮小した。LCC（格安航空会社）の就航による訪日旅行の割安感、円高ウォン安の緩和傾向がプラスにはたらいた。

台湾は同37・9%増の12万3千人と大幅な伸びを示し、過去最高を記録した。LCCの就航で紅葉シーズンの旅行需要や若年層の旅行需要が喚起され、団体旅行に加え、個人旅行者も増加した。

このほか過去最高を記録したのが香港、タイ、マレーシア、インド、ベトナム。特にタイは8カ月連続で過去最高を記録し、1～11月の累計23万5千人はこれまでの年間記録を更新している。

しかし、中国は同24・0%減の5万2千人。10年11月は尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件の影響が大きかった時期であるため、減少率は小さく表れている。個人旅行は減少しているものの、比較的影響は小さいが、団体旅行は前月に引き続き新規予約が鈍化している。

他の主要市場では、米国が同1・5%減の5万8千人と震災前とほぼ同じ水準。豪州は円高などが影響して同7・7%減の1万4千人。欧州ではドイツが放射能の風評被害などの影響で同11・7%減の1万1千人。

訪日市場の動向について観光庁の井手憲文長官は、12月21日の定例会見で「全体としては2010年のレベルまで戻ってきた。13年は韓国との地方間の観光交流、ASEAN（東南アジア諸国連合）へのプロモーションなどに力を入れ、さらに伸ばしたい」。尖閣諸島の問題の影響が残る中国については「しばらく減少が続くが、中期的には回復への〝胎動〟が始まっている」と指摘した。

一方、12年11月の出国日本人数は、前年同月比3・9%減の144万人。1～11月累計は前年同期比9・8%増の1706万2千人で、年間では1800万人を超える見通しだ。【向野悟】

半数が3ヵ月以内に旅行
ゆとり世代　JTB総研が調査

JTB総合研究所は12月12日、「ゆとり世代」（19～25歳）と「プレゆとり世代」（26～33歳）の旅行意識などの調査の結果を発表した。調査は10月下旬に実施。3カ月以内に泊まり掛けで国内旅行をした人は、ゆとり世代47・2%、プレゆとり世代42・6%が「国内に出かけた」だった。

泊まり掛けの海外旅行は、ゆとり世代が4・8%、プレゆとり世代が6・6%だった。どちらの世代も約半数は泊まり掛けの旅行をしたという結果が出た。

旅行の際に利用した交通機関は、ゆとり世代もプレゆとり世代も、「電車・バスなどの公共交通機関」がそれぞれ53・8%、44・3%と半数前後を占めた。2位は、ゆとり世代で「飛行機」（20・4%）、プレゆとり世代では「自家用車」（25・2%）となった。

電車・バスなどの公共交通機関の良いところとしては、費用の安さに加えて、「同行者や自分が運転しなくてすみ、気を使わない」といった気楽さもあげられた。「仲間との空気感を大切にする若者世代ならではの価値観と言えるかもしれない」とJTB総合研究所。

一方で自家用車は、「時間に捕らわれずに移動できる」や「自宅から出発できる」「荷物を運ばなくてすむ」といった利便性が魅力のようだ。

旅行先で大事にしたいことは、ゆとり世代が37・2%、プレゆとり世代が37・8%で、「その土地ならではの風景や観光を楽しむ」が共に1位となった。2位はゆとり世代が「何もせず、のんびり、まったりする」（19・2%）、プレゆとり世代が「その土地ならではの食事や買い物」（18・2%）だった。プレゆとり世代の方が少し外向きの傾向が見られた。

型議 大国際会議
新たに2件を誘致
横浜　13年も開催続々

横浜観光コンベンション・ビューローはこのほど、ゴールドシュミット国際会議、国際嗅覚味覚学会の誘致に成功したと発表した。いずれも2016年に横浜市で開催される。

多くの国際会議が横浜で開催されるのは「産学が連携してイノベーションを推進できる社会経済の基盤構築のほか、ライフサイエンスを中心とした科学・学術分野の発展に横浜全体で取り組んでいるため」と同ビューロー。

また、「ノーベル生理学・医学賞を受賞した京大iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授が国内委員長を務め、12年6月にパシフィコ横浜で開催された国際幹細胞学会年次大会の成功は横浜の名を広く世界に示した」と強調する。

同ビューローの国際会議に取り組みは着実に成果を上げており、13年はアフリカ開発会議をはじめ、国際化学療法学会、国際酪農連盟ワールドデイリーサミット2013などが開催される。

離婚しないための婚活ツアー
日本旅行が発売

日本旅行はこのほど、「離婚式プランナー」の寺井広樹さん監修の「離婚しないために学ぶ婚活ツアーin京都」を発売した。「婚活」を目的とした未婚の男女対象のツアー。京都のパワースポットを巡り、男女の出会いの場を提供するほか、「離婚しないための出会い」を、ツアーに同行する寺井氏の講和を通して学んでもらう。

2月9、10日の1泊2日。料金は現地集合1万9800円、東京発3万7800円。

人事

◎近畿日本ツーリスト（1月1日付）

※前職は旧近畿日本ツーリスト＝KNT－CTホールディングスの役職名

総務広報部長（総務部長）増田充康▽総務広報部部長（ブランド戦略室CS推進部長）仲章弘▽総務広報部部長＝大阪駐在＝兼戦略室部長＝大阪駐在（ブランド団体旅行事業本部カンパニー関西営業本部部長）中永毅▽人事部部長（人事部部長）片本義也▽経理部部長（経理部長）伊藤浩▽営業支援本部国内旅行部部長（旅行事業本部国内旅行部部長）中村修▽営業支援本部国内旅行部涉外部長＝東京駐在＝兼涉外部長＝仙台駐在（旅行事業本部国内旅行部涉外部長＝東京駐在＝兼涉外部長＝仙台駐在）杉崎健一▽営業支援本部国内旅行部涉外部長＝名古屋駐在（旅行事業本部国内旅行部涉外部長＝名古屋駐在）河合昌二▽営業支援本部国内旅行部涉外部長＝大阪駐在＝兼涉外部長＝広島駐在（旅行事業本部国内旅行部涉外部長＝広島駐在）田口広司▽営業支援本部国内旅行部涉外部長＝福岡駐在（旅行事業本部国内旅行部涉外部長＝福岡駐在）嵩博文▽営業支援本部訪日旅行部部長（旅行事業本部訪日旅行部部長）赤穂均▽営業支援本部関連商品部長（旅行事業本部関連商品事業部長）杉田智信▽営業統括本部管理部長兼人事部部長（団体旅行事業本部カンパニー副カンパニー長兼管理部長）岡山保則▽営業統括本部販売部長（団体旅行事業本部カンパニー販売部部長）福岡卓▽営業統括本部販売部部長（団体旅行事業本部カンパニー販売部部長）網野正利▽営業統括本部販売部部長（団体旅行事業本部カンパニー販売部課長）平沼潤一▽営業統括本部販売部部長（団体旅行事業本部カンパニー販売部課長）三好宏之▽営業統括本部販売部部長＝名古屋駐在＝兼中部営業本部部長）石綿利一▽営業統括本部課長）石川雅彦▽営業統括本部地域誘客事業部長兼スポーツ事業部長（団体旅行事業本部カンパニー地域誘客事業部長兼スポーツ事業部長）青木淑浩▽営業統括本部スポーツ事業部部長（団体旅行事業本部カンパニー体旅行事業本部部長）石川明彦▽営業統括本部イベント・コンベンション・コングレス営業本部長（団体旅行事業本部カンパニー関東営業本部管理部長）高浦雅彦▽営業統括本部イベント・コンベンション・コングレス営業本部副本部長兼管理部長）高浦雅彦▽営業統括本部イベント・コンベンション・コングレス営業本部カンパニーイベント・コンベンション・コングレス営業本部カンパニー海外旅行商品事業本部部長）菅野貴▽海外旅行商品事業本部海外仕入商品企画事業部部長（個人旅行事業本部カンパニー海外旅行商品企画事業部部長）宿谷勝士▽海外旅行商品事業本部海外仕入商品企画事業部部長（個人旅行事業本部カンパニー海外旅行商品企画事業部部長）新貝博之▽海外旅行商品事業本部海外マルチメディア事業部長（個人旅行事業本部カンパニー海外旅行商品事業本部海外マルチメディア事業部長）内尾智子▽提携販売事業本部販売部長兼東日本提携販売事業部長（個人旅行事業本部カンパニー提携販売事業本部販売部長兼東日本提携販売事業部長）池田康司▽提携販売事業本部部長＝中部地区担当（個人旅行事業本部カンパニー提携販売事業本部部長＝中部地区担当）小林修一郎▽提携販売事業本部部長＝関西地区担当（個人旅行事業本部カンパニー提携販売事業本部部長＝関西地区担当）木村雅一

◎トップツアー（1月1日付）

旅行営業本部カンファレンス事業部長兼営業推進室長（旅行営業本部MCC事業部長）濱崎真一▽旅行営業本部支店統括部東北ブロック長（旅行営業本部支店統括部郡山支店長）菅原慎一▽旅行営業本部支店統括部首都圏ブロック長（旅行営業本部支店統括部中部ブロック長）青木邦博▽旅行営業本部支店統括部中信ブロック長（旅行営業本部支店統括部首都圏ブロック長）加藤政明▽旅行営業本部支店統括部中部ブロック長（旅行営業本部支店統括部東北ブロック長）佐竹晃

「『感じる博』参画を」
神戸夙川学院大　事業説明会開催

神戸夙川学院大学は12月20日、同大学が神戸市から受託、運営する着地型旅行商品販売サイト「神戸を感じる博2012―2013」のウェブサイト説明会を行った。説明会には、神戸市内の観光、運輸関係者や体験型プログラムなどを手がける事業者ら約15人が出席。同大のサイト事務局関係者らがサイトの仕様などについて説明を行い、参画を呼びかけた。

神戸を感じる博は、11月21日に開設。神戸市の着地型旅行商品を幅広く紹介し、予約、決済も受け付けるほか、日本で初めて大学が運営主体となっている点が特徴。2月末までの開設期間中、旅行商品を掲載するための登録料を無料にすることで、新たな神戸市の観光素材の掘り起こしなどを図っている。

説明会では感じる博の狙いや着地型旅行商品販売の状況などを同大学の小野田金司観光文化学部学部長が紹介＝写真。また同サイトが導入している予約販売システムを提供するティー・ゲートの担当者が、実際の商品登録方法などについて管理画面を操作しながら説明した。

このほか同サイトの運営事務局を担当する同大観光文化学部観光文化学科の山本健客員教授は、「『感じる博』というネーミングに構えず、楽しみながら参加してもらうのが1番。通常の活動のPRの場としても活用して」と多くの参加を呼びかけた。

説明会後には追加で説明を受けたり、資料を複数求めたりする参加者の姿が見られ、関心の高さが伺えた。

このうちウェブを活用した新たな集客方法を探ろうと参加した神戸風月堂の白方藍さんは、「管理画面に入力するだけでページに掲載でき、簡単だった。社に戻って参加を検討したい」と語った。

宿泊施設でのイベント
「忘年会」が56%に
こべゆ　こゆ調

シニア向け宿泊予約サービスを提供するゆこゆこはこのほど、宿泊予約サイト「ゆこゆこネット」の20～70代のメールマガジン会員を対象に、「旅館・ホテルで実施したことのあるイベント」について調査した。その結果、「忘年会」が55・4%と最も多かった。

調査は12年9月12～17日に実施、480人（うち女性240人）から回答を得た。

次いで多かったのは新年会で38・3%。以下、同窓会（34・0%）、送迎会（27・9）の順。長寿祝いも26・1%あった。

「性年代別にみると、忘年会72・5%、新年会51・3%と、60～70代のシニア男性の実施経験が最も多い結果となった」という。

旅館・ホテルで忘年会や新年会を行ってよかった点について聞いたところ、シニア世代からは便利さ、安心、施設の充実を挙げる声が多かった。具体的には「2次会も宿の中で済ませられる」「家に帰る時間を気にせずにゆっくりできる」「寒い季節、温泉付きで宴会できるのは最高」としている。

福島県
都内でフェア開催
綾瀬さんもアピール

福島県は12月24日、東京・有楽町の東京国際フォーラムで「げんき咲かそう！ふくしま大交流フェア」を開催し、復興する元気な福島の姿を首都圏の人にアピールした。ステージイベントでは1月6日から始まる大河ドラマ「八重の桜」の出演者が登場し、新種の桜の命名式を行った。

左から玉山さん、長谷川さん、佐藤知事、綾瀬さん、西島さん、綾野さん

命名式には佐藤雄平福島県知事と「八重の桜」に出演する、綾瀬はるかさん、西島秀俊さん、長谷川博己さん、玉山鉄二さん、綾野剛さんが出席。綾瀬さんが新種の八重桜の名前を「はるか」と発表した。「はるか彼方の未来に広がっていくよう思いを込めた」と由来を語った。

命名式の後は佐藤知事と出演者によるトークショーが行われ、出演者それぞれが、福島ロケの思い出を披露した。食の話になると、綾瀬さんはニシンの山椒漬けとこづゆがおいしかったと名産品の名前を上げた。

出演者は福島の方言が気に入ったようで、撮影の合間も方言で会話をしていると語り、仲の良い様子をうかがわせた。

近ツー
特損3億4400万円計上

近畿日本ツーリスト（現KNT－CTホールディングス）は12月20日、2012年12月期（12年1月1日～同12月31日）に特別損失を連結で3億4400万円計上すると発表した。退職希望者の増加が要因。

選択退職制度の拡充に伴い、割増退職金の支払いが増える。個別の特損は2億3千万円を計上する。

女子フットサル大会箱根で開催
近畿日本ツーリスト

近畿日本ツーリストは2月16、17の2日間、神奈川県箱根町で「第1回温泉DE女子フットサル大会IN箱根（より強く！より美しく）」を開催する。

大会では試合のほか、懇親会やお楽しみイベント、Jリーグの湘南ベルマーレの選手によるフットサルクリニックなども予定している。参加資格は高校生以上の女性であれば誰でも可。16チームと、混成チームに加わる個人参加者を募集。

参加費はチーム参加が1万8千円、個人参加が3千円。懇親会参加費（5千円）と宿泊費（1泊朝食付き6千円から）は別途必要。問い合わせは大会事務局（同社横浜支店）☎045（287）4580。

2月5日に産学セミナー
日観協　講演やパネル討論

日本観光振興協会は2月5日、東京・丸の内の東京商工会議所で、産学連携オープンセミナーを開催する。日本学生観光連盟共催。

JR東日本事業創造本部地域活性化部門部長の鎌田由美子氏が「エキナカから地域活性化」をテーマに講演。パネルディスカッションでは今井敏行i・JTB社長、村瀬茂孝ウィラー・アライアンス社長、西尾忠男ジェットスター・ジャパン常務執行役員らが参加し、意見を述べる。